

第52期 中間事業報告書

平成15年3月1日～平成15年8月31日



家族みんなの笑顔が
私たちの喜び。



2005年の秋、おかげさまでマルエツは創業80周年を迎えます。
みなさまの食卓に笑顔をお届けするのが私たちの喜びであり、使命です。
私たちは、この使命を「テーブルルネッサンス21」と名付けました。

来る80周年に向けて、鮮度あふれる商品と情報を集め、みなさまの「声」を生かした
地縁ストアとして、さまざまな企画を推進していきます。

マルエツ

Maruetsu

食卓に笑顔とどけるコミュニケーション
テーブルルネッサンス21 スタートします。

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに第52期の営業概況ならびに中間決算の内容と今後の展望についてご報告いたします。

●当中間期の取り組み

国内経済は穏やかな底離れの局面が感じられる一方、個人消費については、将来の生活不安が懸念され、未だ先行きは不透明であります。さらに、7月、8月の天候不順の影響により、今中間期の経営環境は大変厳しいものとなりました。

このような状況の下、当社は地域社会に根ざした「地縁ストア」づくりをめざし、お客様のニーズにお応えする「店づくり」「商品づくり」を中心に様々な取り組みを続けてまいりました。

営業施策につきましては、12店舗の全面改装を行うとともに、お客様のライフスタイルの変化に合わせ、深夜営業店舗を6店舗増やし、合計73店舗で実施、お客様の利便性の拡大に努めました。

店舗につきましては、馬込沢店(千葉県)、フーデックス山下公園店(神奈川県)を新設し、グループの店舗規模を整理・統合し、経営資源の効率化を図るため、連結子会社である株式会社すえひろより、上溝店(神奈川県)、中津店(神奈川県)の2店舗を当社に営業移管いたしました。また、3店舗の閉鎖を行い、当中間期末の店舗数は203店舗となりました。

連結子会社におきましては、株式会社ポロロッカは、2店を開設、5店舗を閉鎖。サンデーマート株式会社は1店舗を閉鎖いたしました。尚、健康関連事業を営む株式会社メッカや不動産の仲介・賃貸・管理を営む株式会社マルエツ開発は、それぞれ事業の拡大を図っています。

商品面におきましては、ご好評をいただいております当社

の開発商品『FOODEX(フーデックス)』『HOMEeX(ホームエックス)』は、当初計画通りの開発を進め、現在200品目を越える展開となりました。お客様の「食の安心、安全」に対するニーズの高まりにお応えするために、表示等法令遵守を徹底し、お客様にわかりやすくご案内するとともに、生産履歴を明確にしたトレーサビリティー商品の取り組み強化を図りました。

環境・社会貢献活動につきましては、お買物袋持参運動の実施など、地域のお客様のご協力をいただきながら、積極的に活動を続けてまいりました。

●業績の状況

以上の結果、当中間期の単体決算につきましては、営業収益は1,673億91百万円(前期比102.7%)、経常利益は25億72百万円(前期比102.4%)、当期利益は4億1百万円(前期比32.2%)となりました。

連結決算につきましては、営業収益は1,844億26百万円(前期比99.3%)、経常利益は27億79百万円(前期比102.4%)、当期利益は2億79百万円(前期比21.2%)となりました。当期利益につきましては、ダイエー厚生年金基金からの退会に伴わる退職給付費用の一括費用処理と店舗閉鎖などによる特別損失を計上したことによる減少です。

中間配当につきましては、当初計画通り、1株あたり6円とさせていただきます。

●今後の展望

景気の先行きは依然不透明であり、小売業界においても以前にも増して厳しい状況が続くものと思われます。

このような状況下、マルエツグループは、社会環境の変化やお客様の購買行動の変化に的確に対応し続けることの重要性を再確認し、個店競争力の強化を基本政策とし取り組んでまいります。お客様ニーズにお応えした営業施策、

グループ企業



サンデーマート株式会社

- 所在地 東京都中野区弥生町2丁目5番6号
- 店舗数 18店

住宅地を中心に展開するスーパーマーケット



株式会社ポロロッカ

- 所在地 東京都新宿区市谷田町1丁目14番1号
- 店舗数 45店

都市型スーパーマーケット



株式会社すえひろ

- 所在地 神奈川県座間市ひばりが丘1丁目28番1号
- 店舗数 10店

郊外を中心に展開する上質スーパーマーケット

グループ総店舗数 276店 (平成15年8月現在)

※サンデーマート株式会社と株式会社すえひろは、平成15年12月1日をもって合併いたします。

店舗開発を図るとともに、人材育成への取り組みやローコストオペレーションの構築による収益構造の改革を進めてまいります。

当社は、“お客様の笑顔”という小売業の原点に立ち戻り、創業60周年を迎える平成17年を1つの節目と考え、「食卓に笑顔とどけるコミュニケーション テーブルルネッサンス21」の取り組みを9月よりスタートいたします。

今までの取り組みに加え、食を取り巻く多様な変化にタイムリーに対応するため、商品などモノの情報だけでなく、様々なメニューのご提案や、お客様が「食・生活」の面でお感じになっているご不便やご不満を解消し、家族での食卓に食文化・食育という観点からご提案するための様々な取り組みを進めてまいります。

当下半期の新店につきましては、マルエツ単体で6店舗(通期10店舗)、小売部門のグループ合計では9店舗(通期15店舗)の開設を計画しております。改装、営業権の拡大につきましては、お客様のニーズ、ライフスタイルの変化に対応しながら取り組みを進めてまいります。

通期のマルエツ単体の営業収益は3,380億円、経常利益は53億円、当期利益は16億50百万円、連結では、営業収益は3,720億円、経常利益は55億円、当期利益は13億円をそれぞれ見込んでおります。

“For the Customers”の経営理念のもと、「お客様の健康と食文化を創造する快適生活創造企業」をめざし、お客様との信頼づくりに努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年11月
代表取締役社長

太田 清徳



株式会社クローバ商事

■所在地 東京都豊島区東池袋5丁目51番12号
商品開発、販売業務

株式会社マルエツ開発

■所在地 神奈川県横浜市港北区綱島西1丁目4番28号
不動産管理、店舗開発業務

株式会社マーノ

■所在地 東京都豊島区東池袋5丁目51番12号
ノーマライゼーションを理念に
事務サービス業を代行する特例子会社

株式会社メッカ

■所在地 東京都大田区大森西3丁目31番8号
スポーツ機器販売

株式会社日本流通未来教育センター

■所在地 埼玉県蕨市中央3丁目22番30号
教育事業





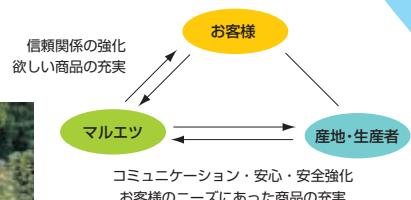
家族の毎日の食卓だからこそ 安心・安全にこだわりたい。

トレーサビリティに積極的に取り組み、ご家族の食卓に安心・安全な商品をお届けしてまいります。

「育ちはっきり野菜」は、名前の通り生産者や栽培方法などの記録がはっきりとした野菜。商品に掲載の「IDナンバー」をマルエツホームページ内設定のコーナーに入力いただくと、簡単に情報をご覧いただけます。

お客様と、生産者の皆さん 地域を結ぶ

お客様の「声」を生産者へ。
生産者の「思い」をお客様へ。



“もっともっとお客様のニーズに近づきたい”を
新たな取り組みでスタートしています。
当社店長が契約産地にホームステイしながら、収穫から出荷までの作業を実習します。お客様の生の声を生産者の皆さんに伝え、
生産者のこだわりや、安心・安全な商品づくりの情熱を、お客様にもフィードバックしていきます。



「今夜は何にしよう」 毎日の献立づくりのお手伝いはお任せ下さい。

1番悩むのは、家族が楽しみにしている晩ごはん。
「キッチン いーとぴあ」は、料理をしながら献立のご提案やご相談を承る
コミュニケーションコーナー。旬のおいしさや話題の商品を使った、からだ
にうれしいメニューをご紹介しています。
毎日のお買物をもっともっと楽しいものにしていきます。

んと… かけ橋をめざして。

お客様の声が、私たちの 店づくり・商品づくりの必需品。

1996年度よりスタートした「店長への直行便」は、
お客様と私たちをつなぐ信頼の大きな柱となっています。
お客様から寄せられるご意見、ご要望に、各
店店長が責任を持ってお応えし、社内で共有化を図り、次のステップへと生かしてまいります。





マルエツのこだわりが、おいしさと快適さを更に広げています。

品質重視の開発商品「FOODeX」「HOMEeX」は、現在200品目を越え、大変ご好評いただいている。

「おいしさ」「健康」「安心、安全」「環境」のそれぞれの視点から、お客様のご満足と信頼をめざした商品づくりをしています。

おいしさのブランド 快適さのブランド



こだわりがおいしい。 「ほしい」が、きっと見つかるプレミアム

おいしさ

やっと見つけたおいしい旬の素材だから
1番おいしく食べてほしい。
産地、生産方法、加工、出荷までの徹底的なこだわりがおいしさの秘密。
あの町の、あの店の味を、ご家庭で気軽に楽しむことができる、
それが「FOODeX」。



本格芋焼酎「楽徳」は、紅さつまを使用し、薩摩の伝統的技法を生かした手づくりのおいしさ。甘い香りと熟成感のあるまろやかな味わい。
徳島産の青柚子を使用、果皮だけをすりおろし、青とうがらしと塩だけで仕上げた香り豊かな「柚子こしょう」を、薬味に使った鍋はいかが。ぜひご一緒に、秋の夜長をお楽しみ下さい。

健 康

「からだにいいものを食べたい」、毎日の食事だからこそ健康にこだわりたい。
既存の商品にはない、新しい商品がお客様のニーズをキャッチします。



「ジャムは甘くて」と敬遠されていたお客様も安心。
「オールフルーツ30」は砂糖不使用。果汁と果肉のみで仕上げ、糖度は控えめの30度。新発売のパイナップルは、沖縄産100%使用で、他にはないおいしさ。

安心・安全

生産者の顔が見える商品、農法にこだわった生産物、安心の製法を追求。
お客様のニーズを“形”に変えた信頼の商品づくり。



国内で、有機小麦の安定生産に取り組む生産者の方と共同で開発した「有機小麦粉」は、安心・安全のごだわりの一品。お料理に欠かせないものだから、安心できる信頼の品をお選び下さい。

環境

一人一人の環境を大切にする気持ちが、地域を、地球を守ります。
省資源、環境保全を考えた商品が、こだわりの快適さをお届けします。



当店店頭で回収された牛乳パックを主原料に、ティッシュやトイレットロールに再生使用した「牛乳パックリサイクルシリーズ」。ご家族の気持ちが、こんなに身近な商品へ生まれ変わるなんて、うれしい快適さですね。

開発商品。

食卓に笑顔とどけるコミュニケーション テーブルルネッサンス21 スタートします。

私たちにできること。それは「食卓」を通じてお客様に「しあわせ」を感じてもらうこと。

私たちは、もう一度“お客様の笑顔”という小売業の原点に立ち戻り、平成17年の創業60周年を1つの節目と考え、「食卓に笑顔とどけるコミュニケーション テーブルルネッサンス21」の取り組みをこの9月より進めてまいります。

商品などのモノの情報だけでなく、家庭の「食卓」全般に関わる、またご家族の笑顔が広がる提案をお届けしていきます。

お客様とのふれあいに、どんどん挑戦してまいります。

家族みんなの笑顔が
私たちの喜び。

食卓に笑顔とどける
コミュニケーション

TABLE RENAISSANCE
テーブルルネッサンス21

2005年の秋、おかげさまでマルエツは創業60周年を迎えます。
みなさまの食卓に笑顔をお届けするのが私たちの喜びであり、使命です。
私たちは、この使命を「テーブルルネッサンス21」と名付けました。
来る80周年に向か、鮮度あふれる商品と情報を集め、みなさまの「声」を生かした
地縁ストアとして、さまざまな企画を推進していきます。

Maruetsu

中間決算の概要(連結)

中間連結貸借対照表

(単位 百万円)

科目	期別 当中間連結会計期間末 (平成15年8月31日現在)	前中間連結会計期間末 (平成14年8月31日現在)	科目	期別 当中間連結会計期間末 (平成15年8月31日現在)	前中間連結会計期間末 (平成14年8月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	30,957	35,155	流動負債	52,559	55,701
現金及び預金	6,135	13,590	買掛金	21,319	21,575
売掛金	1,346	1,199	短期借入金	13,276	15,244
有価証券	9	—	1年内償還予定社債	10,000	10,000
たな卸資産	11,558	10,315	未払法人税等	301	198
緑延税金資産	2,423	2,497	その他	7,662	8,683
その他の	9,482	7,552			
固定資産	132,301	134,124	固定負債	39,088	41,141
有形固定資産	74,298	73,689	社債	200	10,220
建物及び構築物	38,169	38,003	長期借入金	30,296	22,401
土地	32,620	32,433	退職給付引当金	1,924	1,465
その他の	3,507	3,252	その他	6,667	7,054
無形固定資産	1,064	866	負債合計	91,648	96,842
投資その他の資産	56,938	59,568	(少数株主持分)	—	14
投資有価証券	4,872	4,817	少数株主持分	—	
差入保証金	41,547	41,985	(資本の部)	37,549	37,549
緑延税金資産	9,038	10,870	資本金	37,549	37,549
その他の	1,771	1,894	資本余額	35,776	35,776
貸倒引当金	△ 291	—	利益余額	969	2,328
			その他有価証券	35	△ 1,587
			評価差額金	△ 2,720	△ 1,642
			自己株式	71,610	72,423
資産合計	163,258	169,280	資本合計	163,258	169,280

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 当中間連結会計期間末 前中間連結会計期間末
48,949百万円 49,101百万円

(追加情報)

法人税等税率変更による緑延税金資産の修正額

地方税法等の一部を改正する法律(平成15年法律第9号)が平成15年3月31日に公布されたことに伴い、当中間連結会計期間末の緑延税金資産の計算(ただし、平成17年3月1日以降の解消が見込まれるものに限る。)に使用した法定実効税率は、前期末の41.9%から40.4%に変更しています。その結果、当中間連結会計期間末の緑延税金資産の金額が173百万円減少し、法人税等調整額が借方に174百万円計上され、その他有価証券評価差額金が9百万円増加しています。

(重要な後発事象)

1. 国内無担保普通社債発行の件

当社は平成15年7月29日開催の取締役会の決議により、下記のとおり第四回国内無担保普通社債を発行いたしました。

- (1) 発行総額 100億円
- (2) 利率 年1.8%
- (3) 発行価格 額面100円につき金100円
- (4) 発行日 平成15年9月11日
- (5) 偿還期限 平成18年9月11日
- (6) 担保 無担保
- (7) 資金用途 設備資金、借入金返済資金及び社債償還資金

2. 連結子会社の合併について

当社の連結子会社であるサンデーマート株式会社及び株式会社すえひろは、経営効率の改善と事業規模の拡大を目的として、平成15年9月24日付で合併契約を締結いたしました。なお、この合併による連結財務諸表に与える影響はありません。

- (1) 合併の方法 サンデーマート株式会社を存続会社とする吸収合併方式
- (2) 合併期日 平成15年12月1日

中間連結損益計算書 (単位 百万円)

科目	期別 当中間連結会計期間 (平成15年8月1日~平成15年8月31日)	前中間連結会計期間 (平成14年8月1日~平成14年8月31日)
営業収益	184,426	185,655
売上高	181,242	182,519
その他の営業収入	3,183	3,135
売上原価	131,076	133,015
営業総利益	53,349	52,639
販売費及び一般管理費	50,057	49,437
営業利益	3,292	3,202
営業外収益	275	331
営業外費用	787	820
経常利益	2,779	2,713
特別利益	408	—
特別損失	2,221	174
税金等調整前中間純利益	966	2,539
法人税、住民税及び事業税	254	198
法人税等調整額	433	1,032
少数株主損失	—	△ 7
中間純利益	279	1,315

中間連結剰余金計算書

(単位 百万円)

科目	期別 当中間連結会計期間 (平成15年8月1日~平成15年8月31日)	前中間連結会計期間 (平成14年8月1日~平成14年8月31日)
資本剰余金の部	35,776	35,776
資本剰余金期首残高	(0)	(—)
資本剰余金増加高	0	—
自己株式処分差益	35,776	35,776
資本剰余金中期末残高	35,776	35,776
利益剰余金の部	2,213	1,816
利益剰余金期首残高	(279)	(1,315)
利益剰余金増加高	279	1,315
中間純利益	(1,522)	(804)
利益剰余金減少高	1,487	773
配当金	35	31
役員賞与	969	2,328
利益剰余金中期末残高	969	2,328

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科目	期別 当中間連結会計期間 (平成15年8月1日~平成15年8月31日)	前中間連結会計期間 (平成14年8月1日~平成14年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,020	8,859
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,653	△ 2,049
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,435	△ 3,893
現金及び現金同等物の増減額	△ 3,068	2,915
現金及び現金同等物期首残高	9,204	10,008
現金及び現金同等物中期期末残高	6,135	12,924

(注) 中間連結貸借対照表、中間連結損益計算書、中間連結剰余金計算書及び中間連結キャッシュ・フロー計算書の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間決算の概要(単体)

中間貸借対照表

(単位 百万円)

科目	期別 当中期 会計期間末 (平成15年8月31日現在)	前中期 会計期間末 (平成14年8月31日現在)	科目	期別 当中期 会計期間末 (平成15年8月31日現在)	前中期 会計期間末 (平成14年8月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	33,324	36,292	流動負債	47,282	48,721
現金及び預金	4,811	11,419	買掛金	19,382	18,353
売掛金	2,828	2,315	短期借入金	11,014	12,810
有価証券	9	—	1年内償還予定社債	10,000	10,000
たな卸資産	10,221	8,905	未払法人税等	170	141
短期貸付金	4,779	4,479	その他の	6,715	7,415
繰延税金資産	2,352	2,413			
その他	8,319	6,759	固定負債	30,835	31,811
固定資産	121,332	121,387	社債	—	10,000
有形固定資産	58,965	57,757	長期借入金	23,116	14,384
建物	30,119	29,432	退職給付引当金	1,804	1,386
土地	24,660	24,395	その他の	5,914	6,040
その他	4,185	3,930			
無形固定資産	534	266	負債合計	78,118	80,532
投資その他の資産	61,833	63,363	(資本の部)		
投資有価証券	10,793	9,201	資本金	37,549	37,549
差入保証金	40,018	40,227	資本剰余金	35,776	35,776
繰延税金資産	7,741	9,903	資本準備金	18,776	18,776
その他の	3,571	4,541	その他資本剰余金	17,000	17,000
貸倒引当金	△291	△510	利益剰余金	5,898	7,045
			任意積立金	1,079	1,079
			中間未処分利益	4,818	5,966
			その他有価証券評価差額金	35	△1,581
			自己株式	△2,720	△1,642
			資本合計	76,538	77,147
資産合計	154,656	157,680	負債・資本合計	154,656	157,680

(注) 有形固定資産の減価償却累計額

当中期会計期間末

44,549百万円

前中期会計期間末

45,321百万円

(追加情報)

法人税等税率変更による繰延税金資産の修正額

地方税法等の一部を改正する法律(平成15年法律第9号)が平成15年3月31日に公布されたことに伴い、当中期会計期間末の繰延税金資産の計算(ただし、平成17年3月1日以降解消が見込まれるものに限る。)に使用した法定実効税率は、前期末の41.9%から40.4%に変更しています。その結果、当中期会計期間末の繰延税金資産の金額が164百万円減少し、法人税等調整額が借方に165百万円計上され、その他有価証券評価差額金が0百万円増加しています。

中間損益計算書

(単位 百万円)

科目	期別 当中期 会計期間 (平成15年3月1日~ 平成15年8月31日)	前中期 会計期間 (平成14年3月1日~ 平成14年8月31日)
営業収益	167,391	162,913
売上高	164,497	160,117
その他の営業収入	2,893	2,795
売上原価	121,929	118,400
営業総利益	45,462	44,512
販売費及び一般管理費	42,566	41,667
営業利益	2,895	2,845
営業外収益	328	338
営業外費用	651	671
経常利益	2,572	2,512
特別利益	408	—
特別損失	1,713	129
税引前中間純利益	1,267	2,383
法人税、住民税及び事業税	125	141
法人税等調整額	740	994
中間純利益	401	1,246
前期繰越利益	4,417	1,170
利益準備金取崩額	—	3,549
中間未処分利益	4,818	5,966

(注)	当中期会計期間	前中期会計期間
減価償却実施額		
有形固定資産	1,175百万円	1,146百万円
無形固定資産	53百万円	15百万円
計	1,228百万円	1,162百万円

(注) 中間貸借対照表、中間損益計算書の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

商品別売上高

区分	金額 (百万円)	構成比 (%)	
青鮮精	果魚肉	21,312 16,581 15,596	12.9 10.1 9.5
生鮮食品計		53,490	32.5
惣菜・インストアベーカリー	15,588	9.5	
日配一般食	34,005 45,637	20.7 27.7	
加工食品計	95,230	57.9	
日用衣料・身の回り品	7,976 7,800	4.9 4.7	
雜貨・衣料計	15,776	9.6	
合計	164,497	100.0	

株式の状況 (平成15年8月31日現在)

●株主数

株主総数 6,124名
単元株式所有株主数 4,396名

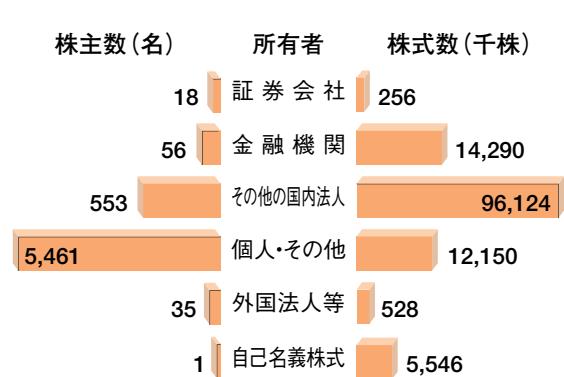
●株式の総数

会社が発行する株式の総数 208,009,000株
発行済株式総数 128,894,833株

●大株主

株主名	所有株式数 (千株)	所有比率 (%)
株式会社ダイエー	46,423	36.02
丸紅フーズインベストメント株式会社	37,113	28.79
株式会社マルエツ	5,546	4.30
マルエツ従業員持株会	2,104	1.63
株式会社みずほコーポレート銀行	1,505	1.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,444	1.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1,214	0.94
マルエツ共栄会	956	0.74
三洋電機株式会社	946	0.73
UFJ信託銀行株式会社	946	0.73

●所有者別分布状況



(注) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社、UFJ信託銀行株式会社の所有株式数は、信託業務に係るもの

6,124名 合計 128,894千株

会社概要・役員一覧

■会社概要 (平成15年8月31日現在)

会 社 名 株式会社 **マルエツ**
設 立 昭和27年6月
本 社 〒170-8401 東京都豊島区東池袋5丁目51番12号
電話 (03) 3590-1110 (代表)
資 本 金 37,549,514,941円
従 業 員 数 13,026名
〔パートタイマー9,466名を含む (1日8時間換算による期中平均人員)〕

マルエツホームページ

<http://www.maruetsu.co.jp/>

iモード

<http://www.maruetsu.co.jp/i/>

マルエツふれあいショッピング

<http://www.rakuten.co.jp/maruetsu/>

■役員一覧 (平成15年8月31日現在)

代表取締役社長	太田 清徳	取 締 役	小林 正
取締役副社長	山本 英勝	取 締 役	小林 豊
専務取締役	谷口 義博	取 締 役	東野 亨
専務取締役	中務 和樹	取 締 役	池浦 喜光
専務取締役	中 浩二	取 締 役	野口 公一
常務取締役	佐藤 徹郎		
常務取締役	緒方 雄介		
取 締 役	小澤 信夫	常勤監査役	鎌田 兼之
取 締 役	高橋 恵三	常勤監査役	原 幸雄
取 締 役	古川 茂樹	監査役	上塚 一也
取 締 役	山成 健史郎	監査役	木村 洋介



**お客様の健康と食文化を創造する
「快適生活創造企業」をめざします。**

株主メモ

- 決算期 每年2月末日
- 定時株主総会 毎年5月
- 配当金及び中間配当金 配当金は毎年2月末日現在の株主に、また中間配当金を支払う場合は毎年8月31日現在の株主にそれぞれお支払いします。
- 公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞
決算公告については、当社ホームページ
(<http://www.maruetsu.co.jp/kessan/index.html>) に
掲載しております。
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 株式名義書換代理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所
(郵便物送付先及び連絡先)
〒135-8722
東京都江東区佐賀一丁目17番7号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 03-5213-5213 (代表)
- 同取次所
みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
みずほインベスタートーズ証券株式会社 本店及び全国各支店
- 専用ホームページ
(<http://www.mizuho-tb.co.jp/gyoumu/daikou/index002.html>)
の“お手続き内容”で一部届出用紙の出力ができます。